

ドロップ・サイト・デイリー、4月6日：トランプ大統領がイランに新たな期限を提示； 大学や石油化学プラントへの空爆；イスラエルがガザ地区でWHOの車両を攻撃

脇浜義明訳

イラン戦争

*米・イスラエル、イラン爆撃続行：

・アル・ジャジーラによると、米・イスラエルは4月5日夜から4月6日朝にかけて、一連のイラン空爆を実施、少なくとも34人が死亡した。

・テヘラン州では、子ども6人を含む少なくとも23人が死亡した。コム市の住宅街で5人、港湾都市ハンダル・エレンゲで6人が死亡した。

・米・イスラエル軍は4月6日、イランの名門大学シャリフ工科大学を空爆した。タスニム通信は、大学内のモスクの窓ガラスの破損、天井の崩落などの被害を報道した。また、近隣のガス配給施設も攻撃を受け、シャリフ地区と第9区一帯が停電となった。民主党のヤサミン・アンサリ下院議員はこの攻撃を非難し、「シャリフ大学はイランのMITだ。シリコンバレーに進出し、米国で最も成功したテクノロジー企業のいくつかを設立した数多くのエンジニアを輩出した大学だ。何故人口1000万人の都市にある大学を爆撃するのか？」とXに書いた。

・ロイター通信とイラン・メディアによると、米・イスラエル軍は4月4日、フーゼスターン州のマフシャフル石油化学地帯を爆撃し、イラン最大の石油化学複合体内の幾つかの施設を破壊した。地元当局によると、石油化学特別経済区内の少なくとも3社が爆発被害を受け、同じ工業団地の一部であるバンドル・イマーム石油化学コンプレックスも被害を受けた。少なくとも5人が負傷し、今後死傷数が増えるだろうと当局は言っている。マフシャフルでは、米・イスラエル軍の近くの石油化学工場への爆撃による化学物質の空気汚染で、住民は呼吸困難になっていると報じられている。

・イランの準国営通信社タスニム通信によると、イスラエル軍は4月6日、イランの南パルスにある石油化学工場を攻撃した。タスニム通信は、アサルイエのジャムとダマヴァンドの石油化学プラントが標的にされたと報道し、アサルイエの石油化学工場に電力、水、酸素を供給するモビン社とダマヴァンド社も攻撃されたと報じた。イスラエルのカッツ国防相は声明で「イスラエル国防軍は、先週のイラン第二の主要施設への攻撃に続き、イラン最大の石油化学施設であるアサルイエの施設を大攻撃した。この施設はイランの石油化学生産の約50%を担う中核的拠点である。この結果、イランの石油化学生産の85%を担っていた両施設は操業できなくなった。これはイラン政府にとって数十億ドルの経済的打撃となるだろう」と言った。

・イラン・メディアの報道によると、米・イスラエル軍は4月4日の現地時間午前8時30分頃、ブシェール原子力発電所付近を爆撃し、警備員1人が死亡した。この施設は開戦以来4回攻撃された。

・金曜日の深夜直前、イスラエル軍がテヘラン北部のアルボルズ山脈の麓を攻撃し、イランのメディアは首都で大規模な爆発が発生し、防空システムが作動したと報じた。

・国際赤十字社、赤三日月社連合によると、イラン赤三日月社に所属する20歳のボランティアのアボルファズル・デフナヴィが4月4日、イスファハン州で人道支援活動中に米・イスラエル軍の空爆で死亡した。これで2月28日の開戦以降赤三日月社ボランティアの死亡者は4人となった。

***イスラエル、イラン軍幹部を殺害：**イランのイスラム革命防衛隊の情報部長のマジド・ハデミ少将が4月6日、イスラエル軍のテヘラン空爆で死亡したと、国営メディアが報道した。イスラエルは犯行声明を出し、カッツ国防相は「イランの指導者は常に標的にされていると意識して生活している。我々は彼らを一人ずつ狙っている」と述べた。また、イスラエル軍報道官は4月6日、イスラエル軍が革命防衛隊派遣民兵組織の秘密部隊のクッズ部隊の司令官アスガル・バケリを殺害したと発表した。イランはバケリ死亡を確認していない。

***米国、撃墜されたF-15戦闘機のパイロット2人を救出したが、救出作戦で複数の航空機を失う：**イラン上空で撃墜された米軍F-15戦闘機の乗員2人が、イラン領内で36時間におよぶ捜索救助活動の結果、生存状態で救出されたと報じられた。しかし、米国とイランの発表によると、この救出作戦で複数の米軍機が失われたようだ。一人の乗員は（身元は明らかにされていない）山岳地帯に隠れてイラン軍の追跡を逃れたという。米国の発表によると、MC-130J コマンドーII 特殊

作戦輸送機2機が、救助活動中に即席滑走路に着陸したが、離陸ができなかった。米軍は全人員を避難させ、航空機の捕獲を防ぐために2機を意図的に破壊した。イラン関係筋は、イラン軍は戦闘でC-130/MC-130輸送機2機、ブラックホーク・ヘリコプター2機、MQ-9リーパー無人機1機、ハーメス900無人機1機を破壊したと主張している。ファルス通信は、夜間の作戦でコフギルーイエ・ブイエルアフマド州でイラン人9人が死亡、7人が負傷したと報じた。イラン外務省は、米軍作戦はイランの「濃縮ウランを盗む」ための偽装工作だったかもしれないと主張した。アル・ジャジーラによると、イラン外務省のハガイ報道官は、「コフギルーイエ・ブイエルアフマド州で米軍パイロットがいたとされる地域は、イラン中央部で米軍が部隊の着陸を試みた、あるいは着陸させようとした地域から遠く離れている」と述べ、「濃縮ウランを盗むための欺瞞作戦であった可能性は決して無視できない」と付言した。

***クウェート領土からイランに向けてミサイルが発射された映像：**フランス24が検証した映像にはクウェート領からイランに向けてミサイルが発射される様子が映っており、クウェートが自国領土をイラン攻撃に利用するのを許可していないと言っている公式姿勢と矛盾している。3月24日にはクウェート北部のアブダリ近郊から少なくとも13発のミサイルが発射される様子が映っており、3月31日と4月1日にもミサイル攻撃をする様子が映っていた。兵器専門家は、発射されたミサイルは、米国製の誘導多連装ロケットシステム（GMLRS）ロケット弾がハイマース（M142高機動ロケット砲システム）プラットフォームから発射されたものと確認されると言っている。クウェート軍はハイマースを使用していないが、米軍が運用している。

***イランのイスラエルと湾岸諸国への反撃：**

・イスラエル軍によると、4月5日にハイファの住宅ビルにイランのミサイルが直撃し、4人が死亡した。ハイファでは週末に他の住宅ビルや工場も攻撃を受けた。同日、イランはイスラエルの軍事・産業インフラを標的にしたミサイル攻撃を少なくとも5回実施し、そのうち1発がネオット・ホバブ工業地帯に着弾した。アル・ジャジーラによると、ガリラヤ地方などイスラエル北部各地で警報サイレンと爆発音が響き、ペタフ・ティクバなどの地域にもミサイルの破片が飛び散った。

・クウェート国営通信社KUNAによると、4月4日、クウェート市内の政府機関やエネルギー関連施設がドローン攻撃を受けた。省庁複合施設が「甚大な物的損害」を受けた。財務省は人的被害はないと発表し、職員にリモートワークを指示し、立ち入り禁止にした。クウェート市近郊のシュワイフ石油セクター複合施設も攻撃され、火災が発生したが、救急隊が迅速に対応して鎮火した。電力省のファティマ・ハヤット報道官は4月4日、発電所と海水淡水化プラントがドローン攻撃を受け、発電ユニット2基が停止したと**発表**した。

・4月4日、イランはバーレーンのバプコ・エナイーズ製油複合施設を**攻撃**した。目撃者や報道によると、シトラ/マアミール工業地帯にミサイルかドローンが着弾し、工場付近で炎と濃煙が舞い上がったという。負傷者や被害状況はまだ報告されていない。

・国営通信社WAMによると、4月6日、アラブ首長国連邦（UAE）のフジャイラにある国営通信ビルがドローン攻撃で損傷した。また、4月4日にはドバイのオラクルビルに対するドローン攻撃があり、迎撃されたドローンの破片によって建物の外壁が損傷したと、当局が発表した。

・UAEは4月5日、迎撃されたドローンの破片がポルージュ石油化学プラントに落下して火災となり、操業停止になったと**発表**した。負傷者は発表されていない。

***トランプ大統領、イラン全土を「爆破」と脅迫：**トランプ大統領は4月5日、[SNS](#)で罵り言葉で脅迫を行った。「4月7日は、イランで発電所（破壊）の日と橋（破壊）の日が一つになるだろう。前代未聞のことだ！クソツタレ海峡を開けろ、狂った野郎ども。さもないと地獄をみるぞ。見てろ！アッラーに栄光あれ。」また、トランプ大統領はABCに対し、戦争は数週間ではなく、数日間で終わると述べながら、イランが合意しなければ米国は「ほとんど」何でもありの劇的エスカレーションを行うと威嚇した。「そうなれば、そうなる…そうしなければ、国全体を爆破する。」

***イラン、米の停戦案を拒否、仲介者がトランプの最後通牒で奔走：**[AP通信](#)によると、エジプト、パキスタン、トルコの仲介者は、イランと米国に対し、45日間の停戦とホルムズ海峡再開を求める提案を送った。関係筋によると、この提案は4月5日の夜遅くにイランのアバッス・アラグチ外相と米国のステイヴン・ウィトコフ特使に送られた。ドロップ・サイトの取材に対してイラン高官は、パキスタン仲介の一時停戦提案を拒否し、代わって戦争の恒久的終結提案を提示した

と述べた。イラン高官はロイター通信に対し、イランは「一時停戦」と引き換えにホルムズ海峡再開をしないと確認し、イランは期限で脅迫する圧力に屈しないと付言した。(停戦案に対するイランの姿勢については、Jeremy Scahill, Murtaza Hussain and Jawa Ahmad, [“Iran Rejects Temporary Ceasefire, Says It Has Already Laid Out Terms for Agreement”](#), Drop Site, April 07, 2026) イランの高官もロイター通信に対し、イランが「一時的な停戦」と引き換えにホルムズ海峡を再開することはないと確認し、テヘランは期限を押し付けられて決断を迫られるようなことはないと言った。

***アラグチ外相、外交攻勢：**アラグチ外相は4月3日夜から、トルコ、オーストリア、パキスタン、エジプト、ロシア、インド、フランスの外相と電話会談を行い、米・イスラエルの合同軍事行動に対する国際世論の圧力を高めるために、集中的な外交活動を展開している。外相は、インフラ、エネルギー施設、住宅地、核施設への攻撃を「前例のない戦争犯罪」と非難し、国連及び国際機関に対し、米国政府とイスラエル政府に責任を負わせることを求め、イランが主権を守る決意であることを強調した。

***トランプ大統領、イランの反政府デモ参加者に武器を提供しようとしたことを認めた；**トランプ大統領は4月5日、今年初めに米国がイランの反政府デモ参加者に武器を送ろうとした秘密工作を、フォックス・ニュースのトレイ・イングスの電話インタビューで認めた。「大量の銃」が「クルド人を經由して」送られたが、デモ参加者にわたることはなく、クルド人仲介者が「保管している」だろうと言った。

***オマーンとイラン、ホルムズ海峡通過について協議：**オマーン外務省は、オマーンとイランが4月4日に、ホルムズ海峡の円滑な通過を確保する選択肢について[協議した](#)と発表した。協議会は、イランが4月2日にオマーンと海峡交通に関する正式な監視議定書を作成していると述べたことを受けて開催された。また、海運ニュース・メディアのロイズ・リストの追跡データによると、オマーン船籍の船舶3隻(大型石油タンカー2隻と液化天然ガス運搬船1隻)が4月5日、イランが承認したラク島付近の航路の外、オマーン沿岸に非常に接近して海峡を通過した。イランは4月5日、イラクをホルムズ海峡通過制限から正式に除外すると[発表](#)し、イラクのバスラ産重質原油100万バレルを[積んだ](#)ポルトガル船籍のタンカーが4月5日にホルムズ海峡を通過した。これは20月28日の開戦以来、ホルムズ海峡を通過した最初のイラク産原油である。

***米国、殺害されたイランのソレイマニ将軍の親族と見られる人物を逮捕：**国務省は4月4日、イスラム革命防衛隊司令官だった故カセム・ソレイマニ将軍の姪と見られるハミデ・ソレイマニ・アフシャルとその娘が米国移民関税捜査局に逮捕され、国外追放する予定だと[発表](#)した。しかし、カセム・ソレイマニの娘は、米国で逮捕された2人は親族ではないと言っている。マルコ・ルビオ国務長官は、ソレイマニ・アフシャルを「イランの全体主義的テロ政権の公然たる支持者」と表現し、両女性の正当な永住権を取り消した。イランで有力な軍事司令官であったソレイマニ将軍は2020年1月の米国のドローン攻撃で死亡した。

***米国のミサイル在庫：**[ブルームバーグ](#)によると、米国はJASSM-ER巡航ミサイルの在庫のほぼすべてをイラン攻撃に投入した。3月末に発令された命令で、太平洋と米本土の備蓄ミサイルが中央軍基地と英国のフェアフォード基地へ移送され、イラン戦争前の2,300発の在庫のうち、現在世界的有事に際して使用できるミサイルは約425発のみとなった。米国はイランに対して開戦後初めの4週間だけで、1,000以上のJASSM-ERを消費した。短距離型のJASSMと合わせると、米国は巡航ミサイル総備蓄量の約3分の2をイランに向けて使ったことになる。

***湾岸諸国ファンド、米国への投資を見直している(パラマウント・ワーナー合併に関して)：**イラン戦争が地域経済を圧迫する中、投資が減少傾向にあり、湾岸諸国の政府系ファンドは米国への投資を見直していると、ライアン・グリムが最新記事で書いている。特に、1,110億ドル規模のパラマウント・スカイダンスとワーナー・ブラザーズ・デディスカバリーの合併はこの状況で危機に瀕している。このうち240億ドルは湾岸諸国からの投資だったからである。カタール投資庁は今週中に会合を開き、合併におけるカタールの投資を再評価する予定である。関係者によると、戦争が続けば湾岸諸国による投資の大幅撤退は避けられないと言われる。ライアン・グリムの[最新記事](#)を参照せよ。

レバノン

***死傷者数：**レバノン保健省によると、イスラエルのレバノン攻撃による死亡者は、3月2日以降、少なくとも1,497人（うち子ども129人）で、負傷者は4,639人となった。過去24時間のイスラエルの攻撃で、少なくとも36人が死亡し、209人が負傷した。

***4月6日のイスラエル軍の攻撃で7人死亡：**レバノン国営通信社によると、4月6日のイスラエルの攻撃でレバノン人が少なくとも7人が死亡した。

・ナバティーエ地区のカフル・ルマン交差点で自動車がミサイル攻撃を受け、4人が死亡した。

・シディキンの町への攻撃で1人死亡、1人負傷。

・今日夜明けに西ベッカー高原のマシュガラが攻撃され、2人が死亡、5人が負傷したという速報。

・イスラエル軍は南レバノンの住民にザフランニ川以北へ強制避難命令を再発令し、ベイルート南部のハレット・フレイク、ゴベイリー、リラキ、ハダス、ブルジュ・アル・バラジュネネ、タフウィタット・アル・グディル、チャなどの地区の住民にも即時避難を命じた。

***週末の攻撃：**4月5日の南レバノンとベイルート全域への攻撃で、少なくとも14人が死亡した。

・レバノン保健省によると、ベイルート南部のアル・ジナ地区への攻撃で、少なくとも4人が死亡、39人が負傷した。この攻撃は、レバノン最大の公立医療施設のラフィク・ハリリ大学病院の100メートル以内付近で行われた。

・国営通信社によると、5日夜、ビント・ジュベイル地区ハリスの町の医療従事者を標的とする攻撃で、医療従事者2人が死亡し、これで3月2日以降、レバノン人医療従事者の死亡者数は50人以上となった。

・他に南レバノンへのイスラエル軍の攻撃で10人が死亡した。その中には、前夜にイスラエル軍が強制退去命令を出したクファル・ハッタで死亡した6人家族と4歳の女兒も含まれている。

・レバノン保健省によると、4月4日南レバノンのハブシュ村へのイスラエル軍の攻撃で、女兒2人が死亡、22人が負傷した。

・4月4日、ベイルート南約80キロに位置する湾岸都市ティルス近郊へのイスラエル軍の攻撃で病院が被害を受け、救急隊員3人を含む18人が負傷した。

・4月5日、南レバノンのナバティーエ県アッパへのイスラエル軍の攻撃で、市長と市警察官1人が死亡したアッパは、ナバティーエとティルスの間の、リタニ川の北に位置する人口8000～9000人のシーア派住民が多数住んでいる町である。

・4月5日、レバノン軍によると、南レバノンでイスラエル軍の攻撃でレバノン兵1人が死亡した。

・4月5日、ベイルート北東部のアイン・サアデ丘陵で、レバノン軍団党の地元指導者ピエール・モアワードとその妻が、イスラエル軍の攻撃で死亡した。キリスト教系の同党は断固として反ヒズボラで、イスラエルと協力した歴史がある。ロリアン・ル・ジュール紙が引用した情報筋によると、攻撃目標はモアワード一家でなく、上の階であったと言われる。

***イスラエル軍、南レバノンで組織的家屋破壊：**イスラエル軍は南レバノンの国境沿いの町ナクーラトタイベで、大規模な家屋破壊を行った。ナクーラは、国連がレバノンとイスラエルの間に引いた非公式の国境線であるブルーラインに沿った、イスラエルとの国境に直接接する沿岸の町で、国連レバノン暫定軍（UNFIL）の本部が置かれており、戦前は保養地として有名であった。約4000人の住民のほとんどが避難している。

***イスラエル、レバノンとシリアの主要国境通路への攻撃を警告：**イスラエルは4月4日、ヒズボラが軍事目的に利用しているとして、レバノンとシリアの国境通路マスナアを「近い将来」攻撃すると言った。この攻撃は深刻な人道的影響がある。マスナアはレバノンとシリアを結ぶ主要な陸路国境クロッシングの一つで、毎日数千人の商人や旅行者が利用している。

***ヒズボラ、主要標的への攻撃成功と主張：**ヒズボラは4月5日、レバノン沿岸から68海里沖合のイスラエル軍艦を対艦巡航ミサイルを使って攻撃したと発表した。イスラエルのメディアのチャンネル14は、攻撃を受けた軍艦はイスラエル艦ではなく、英国艦である可能性が高いと報じた。英国防当局は、自国の軍艦が攻撃を受けた事実はないと否定したと、英紙テレグラフは報じている。ヒズボラはまた、4月4日にイスラエル国境に近い南レバノンのワディ・アル・アユンでイスラエル軍のメルカヴァ戦車2台を攻撃した映像を公開した。

ガザ・ジェノサイド、西岸地区、イスラエル

***死傷者数：**過去24時間で、イスラエル軍のガザ回廊攻撃で、パレスチナ人7人が死亡、17人が負傷した。2023年10月7日以降の死者数は72,302人、負傷者数は172,090人となった。ガザのパレスチナ保健省によると、いわゆる停戦初日の10月11日以降のイスラエルの停戦違反の攻撃で、少なくとも723人のパレスチナ人が死亡し、1,990人が負傷した。また、瓦礫の下から回収した遺体は759体である。

・建物の倒壊でパレスチナ人男性が死亡し、建物倒壊による死者数は29人となった。

*イスラエル軍、週末の攻撃で10人を殺害：

・地元保健所によると、4月5日、イスラエル軍のガザ市ダラージ地区のヤッファ通りへの空爆で、パレスチナ人4人が死亡、数人が負傷した。

・同じ日、ガザ回廊南部のマワシ・ラファで子どもが頭を撃たれた。

・4月4日のガザ市への攻撃で4人が死亡。

・ガザ回廊東部への攻撃でパレスチナ人1人が死亡。

・ラファとハーン・ユーンシスのテント村へのイスラエル軍の銃撃で、少なくとも6人のパレスチナ人が負傷。

***ガザで、子どもがネズミにかまれる被害が急増：**ガザ回廊の医療従事者によると、イスラエルの封鎖で避難民家族に適切なシェルターが与えられず、過密と衛生インフラの崩壊で、子どもが脆弱な状態に置かれ、最近身体や顔をネズミにかじられる被害が急増している。

***イスラエル、WHO車両攻撃、ラファ経由の患者移動が中断：**ガザ保健省によると、4月6日、ハーン・ユーンシスの「グリーンゾーン」指定地域で、イスラエル軍がWHOの職員数人を乗せたWHO車両に発砲し、運転手が死亡した。保健省は「人道支援団体の活動を妨害し、その活動にさらなる制約を課すもの」と非難した。WASA通信によると、WHOはパレスチナ赤三日月社に対し、ラファ・クロッシングを通して患者を外国で治療を受けさせる医療搬送と外国で治療を受けたパレスチナ人のガザ帰還搬送を一時中断すると通知した。

***西岸地区の難民キャンプで、イスラエル兵がパレスチナ人を殴打する映像：**4月5日、占領下の西岸地区のカランディア難民キャンプで、イスラエル兵が両手を上げた非武装のパレスチナ男性を暴行する様子が撮影された。複数の兵士が交代で男性を殴り、さんざん痛めつけた後でカメラに映らないところ男性を引きずっていった。

米国ニュース

***民主党議員、トランプ政府の戦争終結を主張：**4月5日のテレビ番組「ミート・ザ・プレス」出演したティム・ケイン上院議員とロー・カンナ下院議員は、ホルムズ海峡を支配している「イランとの戦争を終結させるためのトランプ大統領提案の合意条件を支持するか」と質問された。この質問は、メディアが政治家をタカ派的方向へ推し進めようとする基調の質問であるが、両議員はこの質問に反論し、今最も重要なことは攻撃をやめて本当に戦争を終わらせることだと言った。

***大量監視めぐり、議会の攻防：**改革派のジェイミー・ラスキンが民主党のジム・ハイムズ下院議員やマイク・ジョンソン下院議長と対立した。通称「セクション702」¹の再承認が来週、下院で採決にかけられる見込みである。争点は、トランプ政府がデータブローカーを使って、憲法修正条項第4条（不合理な搜索・逮捕・押収の禁止）を回避し、個人情報収集して政府管理のAIプログラムに入れることを認めるかどうかである。個人情報を収集して政府管理のAIプログラムに入れることを認めるかどうかである。ハイムズは同じ民主党のラスキンがトランプ政権にこのような権限を与えることに反対していることを攻撃している。「ラスキンの主張が民主党を分裂させている。我々は日々、この権限が人々の安全を守っていることを見ている…ラスキンはトランプから司法長官を解任されたパム・ボンディに公然と辱められている国内世界に住んでいる」と言った。「セクション702」を阻止する左派・右派連合が形成されつつある。アメリカン・プロスペクトが報じたように、CPC（議会進歩派議員連盟）は再承認に反対票を投じることを約束しており、トランプへの不信感で多くの人がCPCに参加している。ハイムズは「2年前は賛成していたのに、今は反対する側へ転じた人が多くい

訳注¹： 外国情報監視法第702条（米国外の外国人をスパイすること）

る」とザ・ヒル紙に語った。「トランプは大統領を5年間も務めているが、このプログラムを悪用したことは一度もない。もし悪用したら、私はリアルタイムで知ったであろう。それなのに、人々はトランプを信用しないのだ」と彼は言った。しかし、トランプ政権は、トランプによるこのプログラム悪用を摘発するはずだった監察官やその他の内部警察官の権限を骨抜きにってしまった。

***メアリー・ペルトラ、ポピュリスト的メッセージでアラスカ州で人気：**上院の議席奪還を目指す民主党は、アラスカ州を重要な場と見て力を入れている。元下院議員のメアリー・ペルトラは、半ば冗談で「魚擁護派」を掲げて選挙運動しているが、[世論調査](#)によれば現職のダン・サリバン上院議員より人気があることが判明した。アラスカのNPR局（米国公共ラジオ放送）によると、今回目立つのは、ペルトラが、メイン州のグラハム・プラトナーやネブラスカ州の無所属候補のダン・オズボーンが効果的に行っているように、ポピュリスト的メッセージを積極的に打ち出していることだ。「元アラスカ州下院議員は、上院議員選挙に出馬し、魚、家族、自由以上のことを語っている」と[アラスカ NPR](#)が報じている。「彼女のSNS投稿の多くは、『私腹を肥やす悪徳政治家』や、一般国民に不利になるように『制度を操作している』エリート層についてだ」と好意的に述べている。

***イラン戦争に反対したために停職または解雇された学者：**ガーディアン紙によると、過去1か月で少なくとも3人の米国人学者が、米・イスラエルの中東における行動に反対したために停職または解雇された。シリン・サーディンはSNSにパレスチナ支持、イラン指導部を称賛する文を投稿したために、アーカンソー大学から正式に解雇された。彼女は大学のレターヘッドを使って、スウェーデンで有罪判決を受けたイラン高官の釈放を訴えたと言われた。テキサス州立大学の哲学教授のイドリス・ロビンソンは、学外でイスラエル・パレスチナ紛争に関して講演した後に契約を解除されたので、訴訟を起こしている。ワシントン大学の中東研究センター所長のアリア・ファニは、センターのメーリングリストを通じて米・イスラエルの政策を批判するメールを送ったためにセンター所長の地位を解任されたが、教員としての地位は続いている。

***メイン州知事ジャネット・ミルズ、対立候補プラトナー優位が続く中、部族フォーラムと上院選討論会を欠席：**ミルズは、4月11日に予定されている上院選予備選のグラハム・プラトナーとの討論会と、4月16日にペノブスコット族が主催するフォーラムを、「日程の都合」を挙げて出席を取りやめた。プラトナーの方は4月5日、イスラエルへの軍事支援の停止を訴え、「納税者の税金を1ドルたりとも、ジェノサイドを行う国を武装させたり防衛するために使うべきではない」と言った。「あの国はまさに人間を絶滅させようとしている」と付言し、イスラエルを再もう米国の緊密なパートナーと見做すことは「非常に難しい」と述べた。エマーソン大学が実施した世論調査では、プラトナーがミルズを55%対28%でリードしている。

***インド富豪のアニル・アンバニ、エプスタインを通じて米政府へのコネクションを模索：**[ニューヨークタイムズ紙](#)は、新たに公開された数百件のエプスタイン関係の通信記録を引用して、インドの大富豪アニル・アンバニが2027年に米国とインドの間の防衛・外交関係を促進するために、ジェフリー・エプスタインに協力を求めたと報じた。エプスタインは、モディ政権とのコネクションをつけることを引き換え条件に、ホワイトハウスの人事に関する事前情報（H.R.マクスターの後任としてジョン・ボルトンが国家安全保障担当補佐官に就任することなど、エプスタインは事前に知っていた）をアンベニに提供したとされる。エプスタインはまた、インドがイスラエル製武器をさらに購入すれば、トランプ政権との関係が改善されると助言した。この助言の後に、モディ首相の歴史的なイスラエル初訪問と、同じ年にインドが約20億ドル相当のイスラエル製武器を購入した。この件についての詳しい報告は[こちら](#)。

その他の国際ニュース

***コンゴ民主共和国、米国からの第三国強制送還者の受け入れを合意：**コンゴ民主共和国（DRC）は米国から強制送還された移民の受け入れを今月から開始すると[発表](#)した。政府は、トランプ米政府との取り決めを「一時的措置」とし、「人間の尊厳と国際連帯へのコミットメント」を反映した措置と説明した。米国が強制送還費用を負担すると報じられているが、強制送還人数は明らかにされていない。米上院外交委員会の民主党スタッフによると、2025年2月以降トランプ政府は約300人の移民を第三国に強制送還するために少なくとも4000万ドルを使った。

***ドローン攻撃でバスの外国石油施設で火災**：ロイター通信が取材した治安筋によると、イラク南部の主要石油ハブのバスラにある外国石油会社の貯蔵施設が、ドローン攻撃を受けて**火災**となった。死傷者の報告はなく、企業名も明らかにされていない。

***アフガニスタン全土で洪水、土砂崩れ、落雷で77人死亡**：[アフガニスタン災害管理庁](#)によると、過去10日間にわたる豪雨と暴風雨による洪水、土砂崩れ、落雷によりアフガニスタン全土で77人が死亡、137人が負傷した。全壊家屋が約88戸、部分損傷家屋が数千戸である。首都とパキスタンとの国境を結ぶ主要幹線道路や、カブールとクンドゥズ、マザール・イ・シャリフなどの北部都市を結ぶ幹線道路などの重要な道が、暴風雨で通行止めになっている。嵐は今後数日間続く予想。

***シリアのアラウィ派女性や少女たちが誘拐され、残虐な扱いを受ける**：ニューヨークタイムズ紙の調査によれば、シリアの少数民族アラウィ派の女性と少女たちの誘拐は、当局が認められているよりもっと広範囲にわたり、残虐な形で行われていることが明らかになった。政府は公式に確認された事例一件だけを認めているが、NYタイムズ紙は13人のアラウィ派女性の誘拐を確認し、さらに多くの誘拐事例の報告を受けた。彼女らは白昼堂々と拉致され、不衛生な場所に監禁され、殴打され、性的暴行されたと証言している。被害者のうち5人はレイプされ、2人は妊娠した状態で帰宅したと報じられている。ある家族は拉致された親族のために1万7000ドル相当の身代金を支払ったが、親族の返還はなかった。

***ネパール、勤務日数短縮**：ネパール政府は4月5日、米・イスラエルのイラン攻撃によって引き起こされたエネルギー危機への対応策として、官公庁と教育機関の勤務日数を週6日から5日に短縮し、土曜日を休日にする**と発表**した。ネパールには国内に化石燃料供給源がなく、エネルギーをほぼ全面的にインドに依存しており、世界的価格変動の影響を受けやすい状況にある。

***ナイジェリア北西部で誘拐と襲撃**：[ロイター通信](#)によると、ナイジェリア北西部サムファラ州ブクム地区で4月2日、武装強盗団が150人以上（主に女性と子ども）を拉致した。これは、ナイジェリア北西部で最近発生した集団誘拐事件としては最大規模である。武装集団は車両や家屋に発砲し、地域を襲撃し、住民を追い出した。地元議員によると、拉致された人々は周辺のジャングルの中に連れて行かれたという。隣接するカドゥナ州では、ナイジェリア軍が、教会でイースター礼拝中に襲撃されて人質に取られた民間人31人を救出した。その時、5人が死亡したことが確認されている。地元のキリスト教団体の代表によると、村の2つの教会が襲撃され、7人が死亡、人質に取られた人数は不明だという。

***米軍が使用する英国空軍基地で抗議者7人を逮捕**：英国警察は4月5日、レイクンヒース空軍基地の傍で平和キャンプを張っていた7人を、パレスチナ・アクションを支持した容疑で、**逮捕**した。英国は、イランに対する「防衛」作戦とホルムズ海峡防衛のために、米軍が英国基地を使用することを承認した。平和キャンプ主催者によると、逮捕された男性5人と女性2人は、「我々はジェノサイドに反対し、パレスチナ・アクションを支持する」というメッセージを書いた服を着ていた。スターマー政権は昨年パレスチナ・アクションをテロ組織に指定し、裁判所が「行き過ぎ」と判断し、政府の上訴が保留されているため、テロ指定は継続している。パレスチナ・アクションを支持する集会を行ったために2,700人以上の人が逮捕されている。

***ウクライナ、ロシアの港湾とエネルギー・インフラ攻撃を激化**：4月5日ウクライナは、ロシアのバルト海沿岸にあるプリモルスの石油輸出ターミナルを**ドローン攻撃**し、ニジニ・ノヴゴロドのNORSI製油所を炎上させた。ロシア軍は3時間で148機のウクライナ・ドローンを迎撃したと**発表**した。破片が黒海沿岸の港湾都市ノヴォロシースクの構想アパートに落下し、子どもを含む少なくとも8人が負傷した。また、国境地帯のベルゴロドでは、別のドローン攻撃で、民間防衛隊のボランティア1人が死亡した。占領地ヘルソンのロシアが擁立した指導者ウラジミール・サルドは4月5日、ウクライナのドローンが4月3日にアゾフ海で小麦輸送船を沈没させ、乗組員1人が死亡、2人が行方不明になったと発表した。

***地中海で移民船が転覆、70人以上が死亡の恐れ**：4月4日にリビアを**出港**した移民を乗せた船が地中海中部で転覆した。2隻の商船が32人を救助した。2人の遺体が収容されたが、残りは行方不明である。国際移住機関(IOM)は、今年すでに地中海で683人の移民が死亡したと推定している。これは2014年以降で最も多い死亡である。

***国連強制失踪委員会、メキシコ問題を国連総会に付託**：国連強制失踪委員会は、メキシコにおける強制失踪が人道に対する犯罪に該当する根拠が十分にあるとして、国連総会に、メキシコの状況を緊急に検討するように**要請**した。これに対

しメキシコ政府は抗議し、委員会は強制失踪の定義を拡大解釈していること、また、失踪に関する条約の手続きはメキシコの現状に合致しないと主張している。